

整理整頓

石油部部长 木村浩一

整理、整頓を徹底し綺麗な会社作り等を良く聞きますが整理整頓になぜ企業が力を入れて要

るのか。それは人づくりの為に力を入れていている企業だからです。

良く製造、流通業であれば倉庫、金融機関であれば金庫、商店であれば店頭を見れば、その会社が変わると言います。

それは、将来が見えてないと整理ができないからと言

われます。整理とは、不要な物を捨てる事で、これが出てくる人は必要な物と不要な物を区別出来る人です。区別が出来ると

言う事は、明確な基準を持つているということ。例えば、引越をするときに、

ドッサリ家財道具や衣類を捨てる人がいます。その判断基準は、新生活に必要なかどうかです。新生活のイメージが鮮明な人ほど、

何が不要かわかります。同じように会社の中に山ほど書類等があります。その内どれを残しどれを捨てて良いかの判断が出来るのは、「次にすべき事」が見えている人だけです。

「もつたいないから残す」「とりあえず取っておこう」で取っておいたらたまるばかりで量は減りません、そうすると今度は整頓が出来なくなります。整頓とは「必要なものを必要な時に取り出せること」です。整理と同様に、何をどのくらいの頻度で

誰が使うかを考えて行う事です。それなのにいつ使用するかわか

らない物を残されても、片付けようがないのです。整頓もまた先の読める人にしかできないのです。整理、整頓によって人づくりが可能。年数がまだ浅い人は床にゴミ

が落ちて拾ってゴミ箱へ捨てよう「なぜゴミを捨てる」のか、なぜ床に物が置いてあるのか、なぜ置いてはダメなのか、その先を単純に考え行動してみ

て下さい。年度末を迎え大掃除にいきそ

んでいる人も多いですが、もし捨てるかどうか迷ったら次が見えない証拠。そう考えイメージトレーニングしてください。要る、要らない物を判断し、整理、整頓に心がけ綺麗な職場づくり

に励んでもらい、職場からムダをなくしましょう。



サービス課 本間千秋

皆様、毎日お仕事お疲れ様です。今年も残すところわずかなりました。今年も大変お世話になりました。今年も大変お世話になりました。

今年も色々ありましたが、私にとつて忘れることのできない事が一月に起こしたスリップ事故です。部活の終わった子供を迎えに行き、子供を乗せ国道

290号走行中、隣集落を過ぎ周りに建物が無くなった所で車が一瞬浮いた様な感じになり「えっ！」と思った瞬間車が回りまわりました。スローモーションで車が回っている。対向車が来る。助手席に乗っている子供にぶつか

る。どうしよう。あーもうダメだ！ドン！と道路脇に後ろから落ちました。最悪の事態の中で、対向車が上手によけて行ってくれ、そしてその車一台だった事、落ちた

所が畦道で衝撃が少なく、後ろから落ちたのでシートの背もたれがクッションになった事、電柱からわずか離れていた事と良い事が重なり、私はもちろん助手席に乗っていた子供にもケガ一つありませんでした。(二人共シートベルトをしていました)

今、こうして誰にケガさせることなく今まで通りの生活をしていることに本当に感謝しています。これからますます天気が悪くなります。皆様も今まで以上に運転に、そして健康に気を付け良い年をお迎え下さい

法被

建材部 佐藤洋樹



お正月も過ぎればあと何日、指折り数え始める。村上の一年の始まり。とても仕事は手につきません。羽黒神社の祭神は水不足を調節する「月読命(つきよみのみこと)」「副神「倉稲魂命(うらがのみたまのみこと)」「奈津比売命(なつひめのみこと)」で豊作をもたらす神格である。



羽黒町の法被

ちようど夏に向かう前の梅雨の時期の祭礼は、古くから豪雨や干ばつをもたらす水の荒魂を鎮め豊作を祈るといふ願いが込められている。村上や近在の人達にとっても、このお祭は生活のうちの一つの節であります。

七日、夜も明けないあの時間帯。しじまに響く笛と三味線の音色、小町坂に久保多町屋台が掛かる、あの瞬間のために。

「心急げども、今この身では、時節待つより他はない」
(盆唄より)

今年も法被の着る日を指折り心待ちにしている。

笑顔

建材部 瀬賀正史



師走に入りましたね。僕がこの宮作にお世話になり最初の一年が終わろうとしています。

この充実した一年を過ごせた事を、温かく見守ってくれた先輩方に本当に感謝します。

さて、話は変わりますが先月あるお客様の事務所に配達に行った時の事です。中に入って挨拶を済ますと部屋の中にある薪

ストーブの存在に気付きました。「社長！薪ストーブって雰囲気があつていいですよね！」すると社長はニコツと笑い「そーだろー！」と…。

その後五分ほど昔話をしてくれました。

僕は帰りの車中、社長の笑顔を思い出しながら「笑顔が人に与えるチカラ」を感じました。その日学んだ事を活かしてこれからも頑張っていきたいと思えます。

建材部 本間優介



六月に入社した本間です。趣味の合う方がいてくれるとうれしいなあと思うので、私の趣味について書くことにしました。

寒さも深まってくるこの季節、私はとても心待ちにしています。雪山が恋しくなるのです。

スノーボード が好きで



雪が降ると毎週滑りに行きます。主にわかぶな高原に行くことが多いです。今シーズンは、またワンランク上のトリックに挑戦したいと思っています。


冬以外の季節は野球をしています。中学一年で野球を初め、高校時代も野球に明け暮れ、現在は地元朝日村のチームに所属し、ナイターで野球をしています。今シーズンは朝日村のナイターリーグで準優勝という結果だった為、来シーズンは優勝を目標にしっかりとトレーニングをするつもりです。この他にも、釣りやカラオケも大好きなので趣味の合う方、

是非誘ってください。よろしく
お願いします。

朗報

石栗部長が平成十九年度「心の輪を広げる体験作文」一般部門において新潟県の最優秀賞に決定されました。おめでとうございます。

編集後記

来年は年女です。人生の折り返し地点も過ぎ、やりたいこともいっぱい有るのですがなかなかできません。材料も一箱二箱と増えていきます。今年こそはと思いなから一年が過ぎて行き
ます。皆さんはどうでしょうか？

次号は監査役、大田保、熊倉朱美さんに原稿お願い致します。

総務経理 岩澤栄子